

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学演習Ⅰ(意思決定と倫理)	1	後期	2	演習 60時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、足立智孝、遠藤美代子、比田井理恵、小島朗			
授業概要	クリティカル状況下でおきる治療の選択や中止など、意思決定を含む倫理的問題について熟考し、解決するための実践力を身につける。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリティカルな状況にある対象者及びその家族への、倫理的調整の役割について説明することができる。 2. 対象者の権利を擁護し、自己決定を支援する方略を検討し、説明することができる。 3. 自己決定できない対象者とその家族を含む看護の支援について説明することができる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	クリティカルケア領域における対象者に生じやすい倫理的問題	松本	
	3-4	クリティカルケア領域における家族に生じやすい倫理的問題	松本	
	5-6	クリティカルな状況下における権利擁護/患者とその家族を含むアドボカシー	松本	
	7-8	インフォームド・コンセントの理論	松本	
	9-10	クリティカルケア領域におけるシェアードデジジョンメイキング	松本	
	11-12	クリティカルケア領域における倫理指針/看護師の責務と協働性	中島・松本	
	13-14	クリティカルケア領域における終末期の倫理的問題	松本	
	15-16	クリティカル領域における道徳的理論と法律的理論	足立	
	17-18	脳死判定・臓器提供における倫理的問題	比田井	
	19-20	移植医療と補助人心臓装着の倫理的問題	遠藤	
	21-22	クリティカルケア領域における倫理教育/看護師の倫理的感受性	松本	
	23-24	クリティカルケア領域における倫理のコンサルテーションの実際	松本	
	25-26	クリティカルケア領域における倫理のコンサルテーションの実際	小島	
	27-28	倫理的課題に対するフィールドワーク	松本・中島・路	
29-30	課題：第1-28回で学んだ知識を活用し、倫理的問題が生じた事例について分析し、考察する。	松本・中島・路		
教科書	特に指定しない。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床倫理臨床死生学テキスト編集委員会(2014)：テキスト臨床死生学日常生活における「生と死」の向き合い方、勁草書房 ・Albert R. Jonsen/赤林朗監訳(2006)CLINICAL ETHICS Fifth Edition/臨床倫理学第5版、新興医学出版社 ・Anne J. Davis/小西恵美子監訳(2008)：Essential of Teaching and Learning in Nursing Ethics/看護倫理を教える・学ぶ その他、適宜紹介 			
評価方法・基準	討議への参加度(60%)、レポート(40%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習：事前に提示された資料を読んてくること。 事後学習：疑問点を整理し、関連した文献等を調べ、理解を深めること。			
備考	特になし			